

## JAおきなわ自己改革取組宣言（案）

これまでも、これからも、地域とともに  
JAおきなわは「総合事業」を展開します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

そして、JAは正組合員と正組合員とともに地域農業を支える准組合員が組織する協同組合として、組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を展開しています。

更に、農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売等を行う農業事業や、信用事業、共済事業、生活事業などの様々な事業を通じて総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。

このように、農業事業をはじめ、信用事業、共済事業、生活事業などを含めた総合事業として展開しているからこそ、組合員や地域の多様なニーズに応える事が可能となります。

わたしたちJAおきなわは、これからも「食」と「農」を基軸に地域に根ざした「協同組合」として、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現するため、総合事業を通じた「農業者の所得増大・農業生産拡大」「地域の活性化」「組合員のアクティブメンバーシップの確立」「食・農・協同組合にかかる県民理解の醸成」の4つを基本目標とする、『創造的自己改革のさらなる実践』に取り組めます。

### 記

#### 1. 県産農畜産物の販売拡大へ向けた取り組み

安全・安心な地元農畜産物の魅力を伝え、多彩なイベント等を通じてJAへの理解を深めるとともに、さらなる販売拡大に取り組めます。

#### 2. 農業ならびに生活メインバンクの機能強化

農業メインバンク機能ならびに生活メインバンク機能の強化を図り、組合員・利用者のニーズに応じたサービスの提供により、農業者所得の向上や地域貢献に取り組めます。

#### 3. 「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供

「相互扶助」の理念を原点とし、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供することにより、組合員・利用者の暮らしを守り、健康で安心して暮らせる地域社会づくりに取り組めます。

#### 4. 多様な拠点を活かした生活インフラ機能の発揮

生活インフラ機能としてのニーズが高い、生活購買店舗や燃料事業、介護事業等の取り組みをすすめて、地域に根ざした多様な組織との連携を強化します。

以上、宣言します。

令和元年6月21日  
沖縄県農業協同組合  
第17回通常総代会